

令和5年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** 県単

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [国道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市落合町～笛吹市石和町	地区名	国道140号 (新山梨環状道路・東部区間Ⅱ期)	事業主体	山梨県	
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等)						
	H26～R4	H26～R8	変更計画	・新山梨環状道路東部区間 L=1.6km 西下条ランプ～(仮)落合西IC 令和4年11月供用 C=13,500百万円 W=7.0(9.5)m ・新山梨環状道路北部区間 L=2km (仮)広瀬IC～(仮)桜井IC 平成28年度事業化 (国土交通省)					
総事業費	18,300 百万円	41,200 百万円	59,000 百万円	⑤これまでの評価状況 (平成30年度再評価)					
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
<p>新山梨環状道路は、甲府都市圏の中心部に集中する交通を分散し甲府市内の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、周辺地域の拠点施設との連携を強化する機能を併せ持った道路である。このうち東部区間は、供用済みである南部区間の西下条ランプから国道20号に至る全長約7kmの区間である。西下条ランプから国道20号をつなぐ現道は、朝夕を中心に交通が集中し激しい渋滞が発生しており、社会・経済活動に大きな支障となっている。</p> <p>本路線は、リニア中央新幹線の開業効果を最大限に発揮するための交通ネットワークとして位置づけられており、既に供用開始済みである西下条ランプ～落合西IC間に加え一体的に整備を進めることで交通の分散による渋滞緩和を図り、リニア新駅と県内各地とのアクセス強化を図る必要がある。</p>									
<p>□主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 混雑時走行速度 17.4km/h<30km/h以下※ 自動車交通量 6,505台/12h>3,428台/12h以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○災害に強い道路の確保</p> <p>□副次効果 ○主要渋滞ポイントの解消</p>									
②事業概要									
計画延長 L=5.500m 道路幅員 W=7.0(9.5)m [暫定形(2/4車線)]									
③全体計画									
		令和4年度まで	令和5年度 (評価実施年度)	令和6年度以降					
現計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事						
	事業費	16,731 百万円	6,670 百万円						
変更計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事						
	事業費	24,078 百万円	5,750 百万円						29,172 百万円
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。									
② 事業位置図等									

2.評価シート(1)

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

①地域・住民の意向状況

沿線の地元自治体や各種団体で構成する新山梨環状道路整備促進期成同盟会から早期完成をより一層要望されている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」(令和5年10月策定予定)
- ・「山梨県強靱化計画」(令和2年改訂)
- ・「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(令和4年9月改定)
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和5年3月改定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

(2) 評価時点の費用対効果分析

項目	着手時点	再評価時点	変更計画時点	
総事業費	18,300 百万円	41,200 百万円	59,000 百万円	
工期	H26~R4	H26~R8	H26~R12	
評価基準年	H25	H30	R5	
費用	14,200 百万円	31,790 百万円	53,400 百万円	
	建設費	13,800 百万円	31,200 百万円	52,800 百万円
	維持管理費	400 百万円	590 百万円	600 百万円
	その他	0 百万円	0 百万円	0 百万円
便益	23,360 百万円	45,100 百万円	67,400 百万円	
	走行時間短縮	15,100 百万円	33,500 百万円	56,700 百万円
	走行経費減少	4,300 百万円	7,700 百万円	7,200 百万円
	交通事故減少	3,000 百万円	2,600 百万円	1,500 百万円
	その他※	960 百万円	1,300 百万円	2,000 百万円
B/C	1.6	1.4	1.3	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、観光客増加便益、救急救命率向上便益

(3) これまでの計画変更等の概要

(平成30年度再評価)

沿線住民から高架構造への要望が出されたことから、道路構造の見直しを行い橋梁延長が増加したため変更した。

- ・完成年度 令和4年度 → 令和8年度
- ・事業費 18,300百万円 → 41,200百万円

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

②進捗率実績が計画と相違している理由

橋梁架設位置での地質調査を行った結果、支持層が当初の想定以上に深い位置にあることが判明し、杭基礎の延長が長くなったことや、近年の資材単価等の高騰から、事業費が増加することとなった。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減		変更理由
橋梁基礎工	9,050	百万円 増	地質調査の結果、支持層が想定以上に深い位置であることが判明したため
資材単価等	8,750	百万円 増	近年の資材単価等の急激な上昇により事業費が増加したため
合計	17,800	百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

一部の用地取得交渉が難航したことや埋蔵文化財の調査に日数を要したことにより工事進捗が遅れているため、工期を4年延長する。未取得の用地については、早期の問題解決に努め、変更計画に基づく執行に努める。

⑤今後の事業執行における留意点

変更計画に基づく工事発注を行い事業進捗を図る。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト削減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 **見直し継続**・その他()

(理由)

令和4年度に供用した西下条ランプ～落合西IC間の1.6kmに加え、落合西IC～(仮)広瀬IC間の5.5kmにおいて一体的に整備を進めることで整備効果の発現が図られることから、変更計画に基づく執行に努める。

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	*R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	現	計画	0.2	0.5	1.8	3.8	6.7	9.2	14.1	26.7	40.6	56.8	73.0	89.2	100.0			
	実績	0.2	0.5	1.8	3.8	6.4	12.2	26.4	43.9	58.4	72.4							
	変更計画										50.6	59.9	68.8	76.4	82.7	88.6	94.4	100.0

*事業着手年度又は評価年度

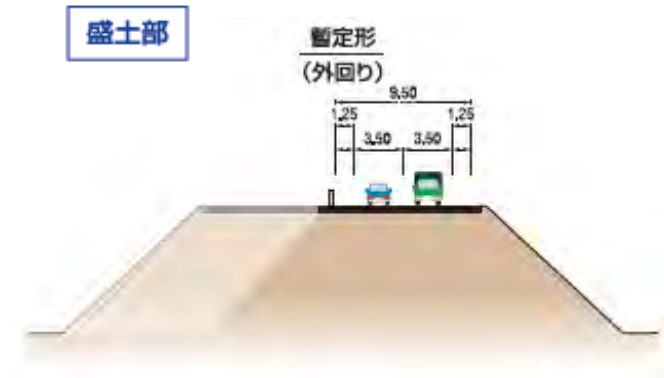
*R5年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

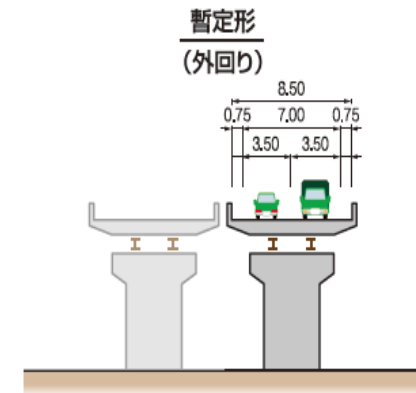
新山梨環状道路の全体概要



標準横断面図



橋梁部



東部区間



3. 添付資料シート (2)

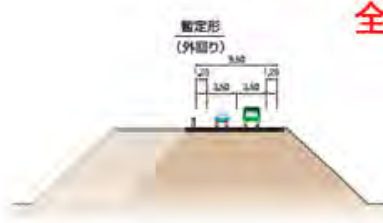
東部区間Ⅱ期 全体計画図



橋梁部



盛土部



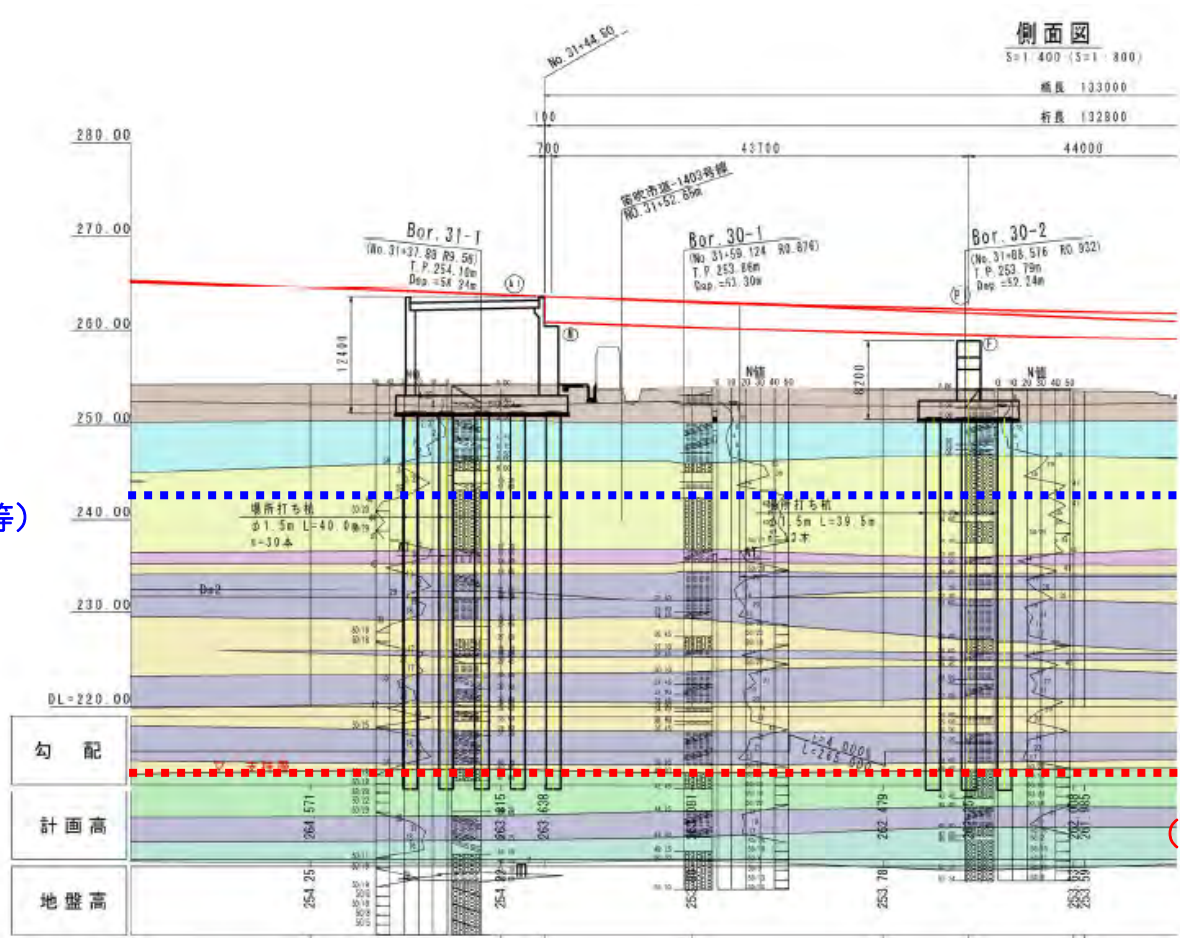
全体計画のうち橋梁構造が占める割合 **84%**

3. 添付資料シート (3)

変更内容

○橋梁基礎工

杭長 約10m
 東部区間Ⅰ期
 (小曲高架橋と同等)
 推定支持層線



推定支持層の見直し

杭長 約40m
 H30年度以降
 地質調査結果からの
 推定支持層線
 (Ⅱ期残工の平均杭長は34m)

○資材単価等

近年の資材単価等が上昇しており、特に、鋼材やコンクリートの価格上昇が著しい状況である。
 事業区間の約8割が高架構造であることから、主要資材である鋼材やコンクリートの価格上昇の影響を受け、大幅な事業費の増額が必要となった。

3. 添付資料シート (4)

① 甲府精進湖線(中道橋)渋滞状況



② 国道140号(笛吹川左岸)渋滞状況



③ 国道140号(白井河原橋)渋滞状況



④ 国道140号(白井河原橋より)渋滞状況



3. 添付資料シート (4)

⑤ 国道140号(井戸)渋滞状況



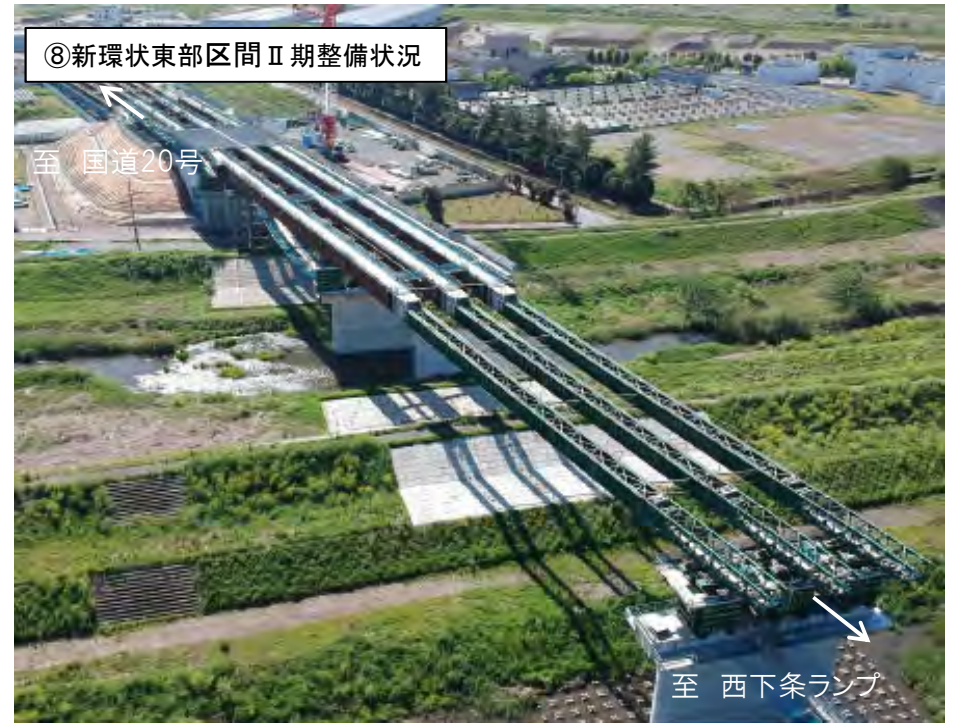
⑥ 国道140号(東高橋)渋滞状況



⑦ 国道20号(上阿原)渋滞状況



⑧ 新環状東部区間Ⅱ期整備状況



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H26	100,000	測量・調査・設計	0.2%
H27	101,000	測量・調査・設計	0.3%
H28	550,000	測量・調査・設計	1.3%
H29	800,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事	2.6%
H30	1,100,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事	4.5%
R1	2,365,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	8.5%
R2	5,853,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	18.4%
R3	7,200,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	30.6%
R4	6,009,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	40.8%
R5	5,750,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	50.6%
R6	5,530,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	59.9%
R7	5,242,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	68.8%
R8	4,500,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	76.4%
R9	3,700,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、地盤改良工事、道路改良工事	82.7%
R10	3,500,000	測量・調査・設計、橋梁工事、地盤改良工事	88.6%
R11	3,400,000	橋梁工事、道路改良工事	94.4%
R12	3,300,000	橋梁工事、道路改良工事	100.0%
合計	59,000,000		